

科目名	心理学研究法			担当教員	安藤 史高	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED1SPS103
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	心理学の学術論文の読解やグループワーク等をととして、心理学研究の一連のプロセス（特に、研究計画の立案と、「調査法」を用いたデータの収集）について学ぶ。					
授業の概要	受講者は、グループに分かれ、調査計画の立案を行い、実践的に研究法を体験する。論文講読、研究計画、仮説検証、データ処理など研究の具体的手順についても理解を深める。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】					

授業計画	
第1回	ガイダンス／心理学研究の流れ
第2回	心理学の主な研究法
第3回	論述の組み立て
第4回	構成概念の測定／心理尺度の信頼性と妥当性
第5回	論文のまとめ方
第6回	原著論文1本目の講読
第7回	原著論文2本目の講読
第8回	研究計画の立て方
第9回	グループ内発表
第10回	研究テーマとリサーチクエスションの決定
第11回	問題と目的の議論を組み立てる
第12回	質問項目の決定
第13回	構想発表の準備
第14回	構想発表
第15回	最終レポートの準備

事前学修	0.5時間	授業内での発表等に備え、準備を行っておくこと。
事後学修	0.5時間	授業内で与えられた課題にグループで取り組むこと。
フィードバックの方法	発表内容に対して授業内でコメントし、質問に対してはその場で回答する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	授業内で課すレポートへの取り組みで評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業内で課す課題への取り組みによって評価する。
補足事項	5回の欠席で成績評価は「失格」とする。	

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
心理学論文解体新書：論文の読み方・まとめ方活用ガイド	近藤龍彰・浅川淳司（編著）	ミネルヴァ書房	9784623092550	なし
参考資料	授業の各回で、参考文献、インターネットサイトなどを適宜紹介する。			

科目名	心理学研究法			担当教員	吉田 琢哉	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED1SPS103
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	心理学の学術論文の読解やグループワーク等をととして、心理学研究の一連のプロセス（特に、研究計画の立案と、「調査法」を用いたデータの収集）について学ぶ。					
授業の概要	受講者は、グループに分かれ、調査計画の立案を行い、実践的に研究法を体験する。論文講読、研究計画、仮説検証、データ処理など研究の具体的手順についても理解を深める。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】					

授業計画	
第1回	ガイダンス／心理学研究の流れ
第2回	心理学の主な研究法
第3回	論述の組み立て
第4回	構成概念の測定／心理尺度の信頼性と妥当性
第5回	論文のまとめ方
第6回	原著論文1本目の講読
第7回	原著論文2本目の講読
第8回	研究計画の立て方
第9回	グループ内発表
第10回	研究テーマとリサーチクエスションの決定
第11回	問題と目的の議論を組み立てる
第12回	質問項目の決定
第13回	構想発表の準備
第14回	構想発表
第15回	最終レポートの準備

事前学修	0.5時間	授業内での発表等に備え、準備を行っておくこと。
事後学修	0.5時間	授業内で与えられた課題にグループで取り組むこと。
フィードバックの方法	発表内容に対して授業内でコメントし、質問に対してはその場で回答する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	授業内で課すレポートへの取り組みで評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業内で課す課題への取り組みによって評価する。
補足事項	5回の欠席で成績評価は「失格」とする。	

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
心理学論文解体新書：論文の 読み方・まとめ方活用ガイド	近藤龍彰・浅川淳司（編著）	ミネルヴァ書房	9784623092550	なし
参考資料	授業の各回で、参考文献、インターネットサイトなどを適宜紹介する。			